

～洪水から母国を守るため、JICA 研修員 大阪府 治水対策施設の視察へ～ 遊水地、調節池、地下河川、狭山池博物館で治水対策技術を学ぶ

大阪府には海拔が低い地域が多く、都市部にも海拔0メートル地帯を有します。そこで大阪府ではまちを洪水から守るため、多くの治水対策の取り組みが行われています。

現在、JICA 研修「インフラ（河川・道路・港湾）における災害対策」コースでは、開発途上国においてインフラ防災に携わるエンジニアが日本の防災対策技術を学んでいます。

12月3日（火）には、洪水対策施設である「遊水池の機能の花園中央公園」や「地下に貯水機能を有する松原南調節池」、「大都市の地下を走る河川の一部である若江立杭」の視察とともに、古代から現代まで灌漑・洪水被害の軽減を目的に利用されている「狭山池ダムと博物館」を視察し、母国の治水対策の発展のため、多くの技術を学びます。

以下の日程で、研修を実施しますので、研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。

参加研修員：5か国5名（加えて1名オブザーバー参加あり：スリランカ）

（参加国：バングラデシュ、インドネシア、ガイアナ、ケニア、ミャンマー）

日程：※雨天の場合プログラムの順番が入れ替わります。詳細は以下問合せ先まで。

12月3日（火）	10：00-10：40	花園多目的遊水地（説明・視察）
	10：40-11：10	松原南調節池（説明・視察）
	11：30-12：00	若江立杭（説明・視察）
	14：00-15：00	土木事業・土木技術の歴史（講義）
	15：00-16：30	狭山池ダム、大阪府狭山池博物館（視察）

※本講義・視察は大阪府都市整備部様にご協力を頂いております。



 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

—ご取材いただける場合は事前にご連絡ください。—

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 宇陀 文香

TEL 078-261-0386 e-mail : Uda.Ayaka.2@jica.go.jp